

# 広島・栗林を支える愛知黎明の後輩・音川さん「お兄ちゃんみたいな存在」へ「100S おめでとう」

◇セ・リーグ 広島 4-2DeNA(2024年5月26日 横浜)

広島・栗林良吏投手(27)が26日のDeNA戦(横浜)で通算100セーブに到達。オフの自主トレから栗林にトレーニング指導や治療を行っている愛知黎明野球部の2学年後輩、心体療鍼灸(しんきゅう)院・音川耀佑(ようすけ)さん(25)が本紙に祝福の手記を寄せた。



栗林と音川耀佑さん。(スポーツニッポン新聞社)

良吏さん、100セーブおめでとうございます。僕にとって良吏さんはお兄ちゃんみたいな存在です。愛知黎明時代からかわいがっていただいて、今は先生という立場で見てもらっていますが、本当に尊敬しています。

(心体療鍼灸院・音川 耀佑 写真右)

去年の11月ごろに「先生はトレーニングも見られますか？」と良吏さんから急に連絡がありました。僕が「全然見られます」と返答すると、「自主トレをお願いしようと思っている」と言われ、今年1月は、20日間ほど付きっきりでサポートしてもらいました。自主トレでトレーナーを付けるのは今年が初めてとのことで、去年のシーズンを振り返り、自主トレの重要性を感じているようでした。映像では、去年は下半身と上半身のバランスがかみ合わず、制球に苦労しているように映りました。また、がに股の傾向もあったので、太腿の内側に体重が乗るよう下半身と体幹を中心に、約50種類のメニューを行い、鍛えてきました。

下半身と上半身のバランスが改善されたことで、今年は制球も去年より良くなっていると思います。開幕してからも、1カ月のうち数日は出張で治療をさせてもらっていて、今年の活躍ぶりを見るとうれしいです。これからの活躍も楽しみに、今後もしできる限りのサポートをしていきたいです。(心体療鍼灸院・音川 耀佑)

# 【特別手記】広島・栗林良更の個人トレーナー・音川耀佑さん、大きなけがなく治療家冥利に尽きます



通算100セーブを達成した広島・栗林良更投手(27)のコンディション管理を今年1月の自主トレーニング時から務めている、愛知県内で治療院を運営している音川耀佑(ようすけ)さん(25)が特別手記を寄せた。

良更さん、通算100セーブ達成おめでとうございます。昨シーズン苦しんだ分、今回は喜びが大きいのではないのでしょうか。

初めて出会ったのは2014年12月の愛知黎明高のセレクション兼体験会で、当時私が中学3年生、良更さんが高校2年生でチームの主将でした。私は右肘の手術を受けた影響もあり野球推薦で行けそうな高校は全滅。一縷の望みをかけて体験会に参加したのですが、良更さんが「チームに欲しい」とコーチに言ってくださって、最後の1枠に滑り込むことができました。忘れられない思い出です。

いつか恩返しをしたいな、と思っていたので昨シーズン後に頼ってくださったときはうれしかったです。治療院でお客さんを施術しているときにスマートフォンの着信が鳴って画面をみると「栗林良更さん」。お客さんに断ってから電話を取ってみると「1月に治療してもらえる？ あとトレーニングも見たいんだけど」。もう迷ってる暇はないなと思って速攻でOKしましたね。レギュラーシーズンに入っても私のスケジュールに合わせてバンテリンドーム、マツダスタジアム、甲子園と各地に呼んでいただき、感謝しています。

私としてはここまで大きなけがなくひと安心です。毎朝4時頃に起きて野球や治療に関する本を読み、カープの試合を見たりして治療の準備をしていますが、治療家冥利に尽きます。憧れの先輩であり、憧れの選手です。

# 通算100セーブ達成の広島・栗林 「おかしいくらい優しくて周りが見え過ぎている」 後輩の治療家が明かす人柄と性格

デイリースポーツ

2024.5.27 掲載

「DeNA2－4広島」(26日、横浜スタジアム) 祝・大台到達！！広島・栗林良吏投手(27)がプロ野球史上36人目の通算100セーブを達成した。通算178試合目での達成は馬原孝浩(元ソフトバンク)と並ぶ、日本人最速タイ記録。快挙達成の裏には愛知黎明時代に栗林の2学年下の後輩であり、今年1月の自主トレから右腕をサポートする治療家・音川耀佑さん(25)の存在があった。2人が新たに歩み始めた道のりに迫る。



きっかけは栗林からの1本の電話だった。昨年10月。愛知県内にある心体療鍼灸(しんきゅう)院で院長を務める音川さんのスマホが鳴った。「自主トレを手伝ってくれない?」。偉大な先輩からの要請。突然だったが「ぜひお願いします!」と二つ返事で引き受けた。

1月は午前中にトレーニングを手伝い、昼から21時半は自身の治療院で一般業務。それが終わると再び栗林のところに行って治療を行う。必然的に施術は深夜にまで及び、音川さんの当時の睡眠時間は3、4時間。それでも「キツイとか全くなくて、楽しみでしかなかった」と振り返る。

そう思わせる人柄が栗林にはある。音川さんは右腕の性格を「おかしいくらい優しくて周りが見え過ぎている」と表現した。ある日、広島の栗林邸まで治療に行った際のこと。施術を終えて邸宅を出ると、そこには一台のタクシーが。遠方から来てくれた後輩を気づかって栗林が手配したものだった。音川さんは「常に人のことを気にかけている。僕も学ぶことだらけです」と感謝する。

シーズンが始まった現在でも多忙の合間を縫って広島や遠征先に赴き、守護神の治療を続けている。「自分を追い込む人なので心のよりどころになりたい」と音川さん。2人の歩みはこれからも続いていく。(デイリースポーツ・畠山賢大)

参考:<https://www.daily.co.jp/baseball/carp/2024/05/27/0017700283.shtml>

# 心体療鍼灸院

海部郡蟹江町四丁目490

院長 音川 耀佑

資格 柔道整復師 はり師 きゅう師

愛知黎明高等学校(平成28年度卒)

